

但馬食鳥経営者会議で粳米研究成果を報告

7月24日に兵庫県豊岡市内で但馬食鳥経営者会議が開催され、京都府と兵庫県の北部にまたがる但馬地域の肉用鶏の生産、食鳥処理および流通に携わる経営者を対象に「粳米をブロイラーに給与した場合の効果と現場で利用する際の課題」について報告しました。

今回は、飼料利用性も向上するという新たな粳米給与効果と粳米の保管、配合の課題と対応について説明し、参加者からは「粳米の優れた給与効果に改めて驚いた。」「粳米の保管や、配合に課題はあるが、但馬地域から粳米飼料給与でカンピロバクターフリー鶏肉の生産ができるようにしたい。」との声が寄せられるとともに、参加した府内生産者からは、来年度に向け取り組みたいとの意志を示されました。

今後も、本成果の普及に向けた活動を継続していきます。



粳米給与効果の説明に熱心に耳を傾ける参加者